

# J O C S 祈りの花束

2021年7月

今月のことば:愛は育てるものです。(アウグススティヌス 四世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1 雨宮春子ワーカーのため(タンザニア)	2 新型コロナウイルスによって困難な状況におかれている方々、そして対応に関わるすべての保健医療従事者のため	3 ラルシュ・マイメンシン(バングラデシュ)のため。岩本直美ワーカーの後任のリーダーのため
4 オンラインによる諸活動の充実のため	5 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	6 会員・支援者の増強のため	7 ワーカーの安全のためバングラデシュの治安のため	8 新型コロナに対する公正な医療アクセスのため	9 感染症に関する緊急医療活動支援先のため(インドネシア・ネパール・バングラデシュ・ケニア・タンザニア・タイ)	10 地区 JOCS の働きのため
11 78億を超える人口を抱える世界で、人口問題に取り組む人々のため(本日、世界人口デー*1)	12 「つながる募金」「古本募金」の普及のため	13 JOCSの奨学生のため(特にネパールの奨学生のため。現在 16名)	14 新しいワーカーが与えられるように	15 コイノニアミニストリー「シロアムの園」のため(ケニア・協働プロジェクト協力団体・奨学生所属先)	16 事務局スタッフのため	17 遺贈に関する広報や活動が実を結ぶため
18 UPMB(ウガンダ・プロテスタント医療連盟)のため(奨学生所属先)	19 JOCSの会員のため(特に島根県の会員のため。7名)	20 クリスチャン・フェロウシップ病院のため(インド・奨学生所属先)	21 カイラクリ・ヘルス・プロジェクトのため(乾真理子元ワーカー派遣先・奨学生所属先)	22 海上生活を強いられている人々とその問題に取り組んでいる人々のため(本日、海の日)	23 タボラ大司教区保健事務所のため(タンザニア・雨宮春子ワーカー派遣先・奨学生所属先)	24 使用済み切手収集活動のため
25 JOCSに協力するボランティアの方々のため(自宅待機中)	26 岩本直美ワーカーのため(バングラデシュ)	27 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	28 JOCSを支援している教会のため	29 夏期募金のため	30 国際保健医療勉強会のため。講師の石川信克元ワーカーのため(オンラインで本日開催)	31 理事会のため(本日、定例理事会開催)

\* 1 : World Population Day



## みことばの黙想

2021年 7月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

### 1日（木） 詩編 145

神の言葉はことごとく正しく、御業(みわざ)は慈しみを示しています。神は躡(つまず)くものを助け、屈服したものを立ち上がらせてくださいます。

### 2日（金） エフェソ 2:13-18

キリストはわたしたちの平和です。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊しました。

### 3日（土） 詩編 116:1-9

#### †使徒聖トマス日

わたしは主を愛する。主は嘆き祈る声を聞き、わたしに耳を傾けてくださる。生涯、わたしは主を呼ぼう。

### 4日（日） マルコ 6:1-6

イエスは故郷にお帰りになり、弟子たちも従った。安息日になったので、イエスは会堂で教え始められた。多くの人々はそれを聞いて、驚いて言った。「この人は、このようなことをどこから得たのだろう。」

### 5日（月） イザヤ 41:14-20

主は言われる。「苦しむ人、貧しい人は水を求めても得ない。主であるわたしが彼らに答えよう。わたしは彼らを見捨てない。わたしは不毛の高原に大河を開き、谷あいの野に泉を湧き出させる。」

### 6日（火） ヨエル 2:12-13

主は言われる。「今こそ、心からわたしに立ち帰れ。あなたたちの神、主に立ち帰れ。主は恵みに満ち、憐れみ深い。」

### 7日（水） ヨハネ 15:9-17

イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」

### 8日（木） ルカ 3:10-18

洗礼者ヨハネは人々に言った。「下着を二枚持っている者は、一枚も持たない者に分けなさい。食べ物を持っている者も同じようにしなさい。」

### 9日（金） ローマ 13:8-10

聖パウロは記す。「愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。」

### 10日（土） 申命記 30:11-14

御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。

### 11日（日） マルコ 6:7-13

イエスは、十二人を呼び寄せ、二人ずつ組にして遣わすことにされた。十二人は出かけて行って宣教し、多くの悪霊を追い出し、多くの病人をいやした。

### 12日（月） 詩編 33

主は御目を注がれる、主の慈しみを待ち望む人に。主は彼らを飢えから救い、命を得させてくださる。

### 13日（火） イザヤ 51:12-16

主は言われる。「わたしこそ、あなたたちを慰めるもの。なぜあなたは、死ぬべき人を恐れるのか。」

### 14日（水） マタイ 18:1-5

イエスは言われた。「自分を低くして、この子どもようになる人が、天の国でいちばん偉い。わたしの名のためにこのような一人の子どもを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。」

### 15日（木） フィリピ 1:1-11

パウロは記す。「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」

### 16日（金） マタイ 6:25-34

イエスは言われた。「自分の命のことで思い悩むな。何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、他のものはみな加えて与えられる。」

### 17日（土） マタイ 9:36-10:8

イエスは十二人の弟子を派遣するにあたり、命じられた。『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。ただで受けたのだから、ただで与えなさい。」

### 18日（日） マルコ 6:30-44

イエスと弟子たちは、自分たちだけで人里離れた所へ行った。ところが、多くの人々は、すべての町からそこへ一斉に駆けつけ、彼らより先に着いた。イエスはこの大勢の群集を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れまれた。

### 19日（月） フィリピ 2:1-4

パウロは記す。「同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。何事も利己心や虚栄心からしてはなりません。」

### 20日（火） 2コリント 4:16-5:10

パウロは記す。「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」

### 21日（水） ヨハネ 7:25-30

イエスは言われた。「わたしをお遣わしになった方は真実である。わたしはその方を知っている。わたしはその方のもとから来た。その方がわたしをお遣わしになった。」

### 22日（木） ローマ 13:8-10

パウロは記す。「どんな掟(おきて)があっても、『隣人を自分のように愛しなさい』という言葉に要約されます。」

### 23日（金） ヘブライ 12:1-2

わたしたちは、おびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。

### 24日（土） ルカ 18:18-23

イエスはある人に言われた。「あなたに欠けているものが一つある。持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

### 25日（日） ヨハネ 6:1-15

人々は、イエスが群衆に食べ物をお与えになったのを見て言った。「まさにこの人こそ、世に來られる預言者である。」イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、一人でまた山に退かれた。

### 26日（月） ヨハネ 14:1-12

イエスは弟子たちに言われた。「わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、そのように言っただろう。わたしは今、あなたがたのために場所を用意に行く。」

### 27日（火） サムエル記上 16:1-13

主はサムエルに言われた。「容姿に目を向けるな。わたしは、人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」

### 28日（水） ヨハネ 8:31-36

イエスは言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

### 29日（木） ヨハネ 13:1-15

弟子たちとの最後の晩餐のとき、イエスは彼らに言われた。「主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗った。だから、あなたがたも互いに足を洗い合いなさい。」

### 30日（金） マルコ 13:5-13

イエスは弟子たちに言われた。「引き渡され、連れて行かれるとき、何を言おうかと取り越し苦労をしてはならない。そのときには、教えられることを話せばよい。実は、話すのはあなたがたではなく、聖霊なのだ。」

### 31日（土） ルカ 11:33-36

イエスは言われた。「ともし火をともして、それを穴蔵の中や、升の下に置く者はいない。入って来る人に光が見えるように、燭台(しょくたい)の上に置く。」